



NGO ミクロネシア振興協会ニュース

Non-Governmental Organization
Association For Micronesian Development News

発行者 NGO AMD
発行責任者 上村 茂

記事

第2回展示会報告
第1, 2回運営委員会報告
AMD-Fsm支部便り
産物問合わせ&カンパ金

第2回ミクロネシア連邦の写真・産物展



日時: 2003年12月25日~27日
場所: 船橋市勤労市民センター

←ミクロネシア連邦観光局作成ポスター

<後援>

- 日本外務省
- ミクロネシア連邦大使館
- 千葉県
- 社会経済生産性本部
- 千葉県労働者福祉協議会
- 千葉日报社
- 千葉テレビ



受付



民芸品展示スペース



会長と秋永支部長夫人の姉・川勝さん



AMD資料スペース側を視ての写真



ミクロネシア連邦資料展示スペース



本年もよろしく
お願い致します

謹賀新年



申年 元旦

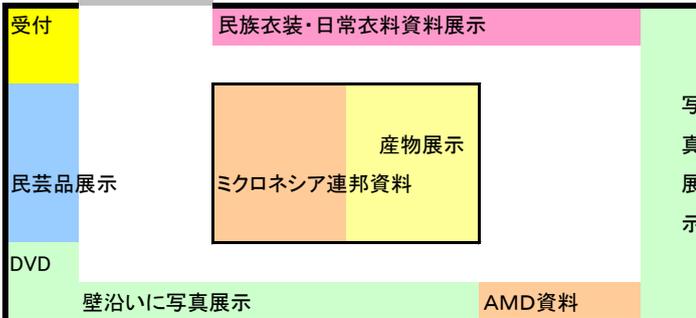
民族衣装・日常衣料資料展示



DVDスペース側を視ての写真



入り口



産物(石鱈・シレ・胡椒等)

展示会を終えて

「第2回ミクロネシア連邦の 写真・産物展示会」が無事終了しました。来会者は延べ180名強となりました。今回の開催に当り、多くの団体からの後援をお受けしました。上記にご紹介をさせていただきますと共に紙上からではありますが、感謝申し上げます。それぞれの後援者の皆様には、報告書を提出させていただきました。この展示会は、私達 NGO AMDとして、ミクロネシア連邦と日本との交流を図る貴重な機会であり、来会者には、ミクロネシア連邦と縁のある人々にもお越し頂きました。新しいお付き合いが生まれました。展示会の展示状況は、本紙上に写真など含めて掲載させていただきましたのでご参照ください。AMDの活動は、この機会を経て一歩進みました。多くの会員と理解ある新しい出会いの人々共に新年も活動して参ります。ポンペイ州を中心に発行されています現地の新聞には、NGO AMD第14次訪問時の記事が掲載されたとのこと。ポンペイ州とコスラエ州における知名度が上がり、責任も増大と共に継続的な活動がより一層望まれています。

AMD-Fsm支部便り No.1 ***** 桜井幸雄 AMD-Fsm支部事務長

「ミクロネシア連邦支部 (NGO AMD-FSM) 第1回&第2回運営委員会の開会」の報告

— 第1回運営委員会の開催 —



安井臨時代理大使も出席
(ポンペイ州)

7月11~12日、3月に発足したミクロネシア連邦支部(NGO AMD-Fsm)の第1回運営委員会が開かれました。そして、11月21日と24日にポンペイ州 PCRホテルとチューク州ブルーラグーンリゾートにて第2回運営委員会を開催しました。第1回運営委員会は、本来7月11日開催予定でしたがコンチネンタル航空の不手際等によりチューク州から参加予定をしていたヨシワ・スカ副支部長と森リンダさんが搭乗できず、11日12日の両日開催になってしまいました。7月11日の第1回運営委員会では、秋永支部長はじめポナベ州の会員が参加し各種報告提案等議案の審議と説明がなされました。その後その延長線上で、PCRホテルにて、飯野特別全権大使、安井特別顧問をお迎えし、NGO AMD第13次訪問団

団長の堀江さん以下のメンバー同席にて交流懇親会を催しました。席上、飯野大使より当会に対する期待と今後の方向性についてのアドバイスがありました。12日には、ヨシワ・スカ副支部長と森リンダさんも何とか合流出来、ポンペイ、チューク州が揃った初めての会合となった第1回運営委員会の続会を開会し、ミクロネシア連邦支部の役員構成を始めとする審議事項を改めて確認をしました。13日には、会場をホテル:ビレッジに移し秋永支部長、堀江団長、ヨシワ・スカ副支部長と森リンダ副支部長、訪問団メンバー&支部メンバー、大使館関係者、などが参加しこのたび党AMDの特別顧問に就任していただきました安井臨時代理大使から、この会がミクロネシアと日本の掛け橋となるようにとの暖かい励ましの言葉を頂きました。



夏島の市長もメンバーに参加
(チューク州)

— 第2回運営委員会の開催 —

11月21日の第2回運営委員会は、ポンペイ州のメンバーが集まり当面の諸活動の優先順序を確認し、24日に開催されたチューク州メンバーが参加した移動運営委員会でもその諸活動の優先順序を協議確認をしました。両州との会議を通じて、州事情の違いはあるものの目指すものが一致出来たことは大変有意義であり、その上今後の会議の開催の仕方まで確認をしたことはAMD-Fsm支部の活動を円滑に進める素地が出来たといえます。それらの活動方針は以下の通りです。



- ①第1として事業家支援のプロジェクトを立上げる事です。具体的には自動車修理工場の板金技術のスキル向上プロジェクト
- ②第2は、修理工場プロジェクトと関連させつつ環境問題に密接しているスクラップ自動車の回収と解体と資源化プロジェクト立上げです。
- ③健康・衛生問題に関するプロジェクトの展開です。この健康問題は深刻であり食生活と農業関係も視野に入れた取組み課題です。
- ④中長期的な課題として、今後取組みを進めていく活動の一つは、リタイアメントプログラム(年金受給者の長期滞在)です。日本の年金額(試算されている減額の場合も含)で長期滞在でき、滞在中に各々の持っている能力(技術・知識・経験)をボランティア活動に生かせる機会を作ることも私達の事業になると考えています。

保健師の
木村さんの
協力を得て
健康問題へ



展示会にて紹介致しました
産物に関する問合せ先は
以下の通りです

住所 〒273-0864千葉県船橋市西船2-27-23
Fax 047-423-4273
E mail fsmi_1999@yahoo.co.jp



シエレ



胡椒



石鹸



黒真珠

ご希望の方はその旨をお申し出ください

私達NGO AMD活動へのご理解と災害支援カンパをお願い致します

災害支援に向けたカンパの口座→ば・る・るプラザ千葉内郵便局、口座名:災害支援カンパNGO AMD, 口座番号:00100-5-295861

AMD活動全般への支援カンパ口座→ば・る・るプラザ千葉内郵便局、口座名:NGO AMD活動支援カンパ, 口座番号:00170-7-277381